

# 中国の「春運」事情

岡山県上海事務所 専任スタッフ 馬小琳

(日中経済貿易センター上海事務所)

## 中国の「春運」

中国で「春節」は一年で最も重要な日です。春節は日本の元旦と同じで、中国人は新年を旧正月である春節で迎えます。春節の期間、中国人は必ず実家に帰省し家族と一緒に過ごします。この時期になると全国各地の空港や駅はとても混雑します。春節の交通ラッシュを中国では「春運（しゅんうん）」と言います。2015年の春運は、2月4日から3月16日の40日間です。

2014年の春節における旅客数は、延べ36億2,300万人にも上りました。

## 春運で利用される交通機関

地元以外の地で勤務している人々にとって、春節に帰省することを嬉しく思う一方で、どの交通機関を利用するのか頭を悩ませます。春節が近づくと、飛行機の切符は割引のない正規運賃に近い額となります。また、帰省先の近くに必ずしも空港や直行便があるわけではないため、コストの面だけではなく便利性から考えても、鉄道が一番の選択肢となります。

中国の鉄道は、一般の列車や動車と呼ばれる高速列車などいくつかの種類があります。利用率が高い一般の列車は普通、快速、特快、直達があります。普通列車は低料金ですが、長時間の移動はとても疲れます。千キロメートル以上の区間を走行する直達列車は、夕方から夜にかけて出発し翌日の朝から昼に到着します。直達列車は「硬座」（二等席）、「硬臥」（二等寝台）と「軟臥」（一等寝台）があり、硬座は座りっぱなしのため、とても疲れます。

## 困難な切符の購入

春節の時期に列車の切符を入手するのは非常に困難です。切符購入の方法は、身分証明書を

示し駅の窓口、または代理店で購入するか、電話やインターネットによる購入も可能です。中国の鉄道局は数年前から切符の販売体制を強化していますが、帰省客が希望どおりの切符を購入するのはいまだに難しいことです。電話で数十枚の切符を一気に予約し最後に不要な切符を窓口でキャンセルなど、他人の迷惑を考えない人々もいます。インターネット購入の数字からも切符の購入が難しいことを見て取れます。例えば、12月7日から12月21日までの間、切符購入の専門ウェブサイトログインした人数は6億9790万人で、6281万枚の切符を販売しましたが、購入率はわずか9%です。

このような厳しい状況の中、帰省客はどう効率よく切符を入手するのでしょうか。時間をかけて何回も買いに行ったり、電話やインターネットで購入を試みる以外にも方法があります。それはダフ屋から切符を購入する方法です。一般的にダフ屋には10%の手数料を支払いますが、春節の時期は20%から30%の手数料がかかります。では、ダフ屋はどのようにして切符を入手しているのでしょうか。ダフ屋は高速のインターネット回線と特別なソフトを使います。一般の中国人は年1回の帰省のための切符を購入するために、高い費用を払ってまで高速インターネットを利用しません。また、ダフ屋は、鉄道職員とも特別な関係を築いています。切符の闇購入行為を禁止されていますし、人々もダフ屋に高い手数料を払って切符を購入したいわけではありませんが、切符の需要が最も高まる春節の時期にダフ屋に依頼する人々も少なくありません。

中国の鉄道は年々発展しており、春節の時期に容易に切符を購入できるようになることは、地元以外で勤務する多くの中国人の願いでしょう。

(2015年2月)